

野草観察

野草の写真を撮り始めて10年ほどになりますが、5万枚余りの画像がパソコンの中で休眠していました。コロナ禍での外出自粛、自宅で過ごす時間が長くなったことから野草の集大成を思いつき、作業を始めています。野草の美しさや逞しさ、巧妙・精緻な花のつくりなど、再認識させられることが多くあります。

それらの中からテーマを絞りながら、シリーズもので紹介いたします。

野草に目を留める機会は少ないと思いますが、一人でも多くの方が野草の美しさなどから安らぎや癒しを感じていただければ幸いです。

花色・形 いろいろ

野草図鑑で掲載されている花色や形は、ページ数の制約などから殆どが1種につき1つしかありませんが、花びらの形や色などは多様でそれぞれに美しさがあります。また、花びらや雄しべ・雌しべとの配列位置によっては、人や動物の豊かな表情を連想させてくれるものもあります。中には花びらの数が異なるものもあります。

1. アカバナリハコベ（サクラソウ科）

花は直径1cmほど、帰化植物（ヨーロッパ原産）です。



2. ルリハコベ（サクラソウ科）

アカバナリハコベと同様、花は直径1cmほどの帰化植物（ヨーロッパ原産）です。



3. ウシオツメクサ (ナデシコ科)

花は直径6～8 mmほど、花びらの先が淡紅紫色になっています。下中央と右2枚の写真に見られるように、花びら1～2枚が変形したものが多く見られました。帰化植物（北半球温帯原産）です。



4. ニワゼキショウ (アヤメ科)

紅紫色と白紫色の2種類があります。花の直径は紅紫色が1.5 cmほど、白紫色の方はやや小さくて1.2 cmほどです。花びらにはいずれの花にも濃い色の筋があります。帰化植物（北アメリカ原産）です。



5. オランダフウロ（フウロソウ科）

花は直径 5 mm ほど、帰化植物（ユーラシア原産）です。



6. ヒメフウロ（フウロソウ科）

花は直径 1.5 cm ほど、帰化植物（原産地？）です。



7. セイヨウノダイコン（アブラナ科）

花は直径 2 cm ほど、帰化植物（ユーラシア原産）です。



8. ハマダイコン（アブラナ科）

花は直径2～3 cmほど。ダイコンの野生化したものと考えられています。前掲のウシオツメクサ同様に花びらの先が淡紅紫色になっています。



9. オオアラセイトウ

別名 ショカツサイ。花は直径3 cmほど、帰化植物（中国原産）です。



10. カタバミ（カタバミ科）

道端や庭先などでお馴染みの野草です。花は直径8 mmほどです。



11. ホソバヒメミソハギ（ミソハギ科）

花は小さく直径4 mmほど、帰化植物（熱帯アメリカ原産）です。花びらの数は通常4枚ですが、5枚や6枚のものにも出会いました。

皆さんご存じのサルスベリは、この花と同じミソハギ科です。



12. ヒメツルソバ（タデ科）

花は集合花で、小さい花が 1 cm ほどの球状に集まった金平糖のような形をしています。帰化植物（ヒマラヤ地方原産）です。



13. オオイヌノフグリ（オオバコ科）

春が近づくとコバルトブルーの小さな花があちらこちらで目につきます。小さな青い瞳が覗いているように見えることから「星の瞳」という別名もあります。表情の豊かさが心に安らぎを与えてくれます。花は小さく直径 0.8~1 cm ほどですので、観察時にはルーペを使ってください。帰化植物（ユーラシア・アフリカ原産）です。



14. ツユクサ（ツユクサ科）

花は直径 1.5～2 cm ほど、路傍等など各所に生えています。花びらは 3 枚、上を向いている 2 枚は大きく青色、下の 1 枚は小さく白色で目立ちません。下の写真を参照してください。

